

2026年3月3日

お客様各位

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

**Gen11 System ROM update 推奨 IntelBaseServer のシステム停止事象について**

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

標記の件につきまして、日本ヒューレット・パカード株式会社（以下 HPE）より発表がありました。詳細情報につきましては下記 HPE サポートサイトでご確認ください。

[https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr\\_na-a00156729en\\_us](https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00156729en_us)

なお、HPE サポートサイトの情報は随時更新されますので、最新情報をご確認いただけますようお願いいたします。

■概要

HPE の Intel ベース ProLiant DL/ML Gen11 または HPE Synergy Gen11 サーバーで、System ROM がバージョン 2.80 より古い場合、通常運用中にサーバーが応答しなくなる可能性があります。

以下のような症状が発生することがあります。

- リモートセッションが切断される
- コンソール画面がフリーズし、キーボードやマウスが操作できなくなる
- 多くの構成で NIC への ping 応答がなくなる
- iLO の電源ボタンが使用不可（グレイアウト）になる場合がある

本事象はまれにランダムで発生します。

サーバーが応答しなくなった場合、以下の手順でこの既知の問題によるものかどうかを判定できます。

- 1) iLO の NMI 機能を使ってクラッシュを発生させます。
- 2) サーバーがハングした状態のまま、iLO の「NMI (Non-Maskable Interrupt)」を送信し、意図的にシステムクラッシュを起こせるかどうかを確認します。
- 3) クラッシュが発生した場合、作成した crash dump を HPE レスポンスセンターに送付頂き、調査を実施します。

#### ■影響範囲

System ROM が **2.80 未満** の下記製品では、本問題が発生する可能性があります。

- Intel ベースの ProLiant DL/DX/ML シリーズ Gen11 サーバー
- Alletra 41x0
- Synergy Compute Gen11

該当する機器をご利用の場合は、System ROM のバージョンをご確認ください。

#### ■解決策

System ROM 2.80（またはそれ以降）を適用することで、この問題は解消され、再発を防止できます。

URL : [https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr\\_na-a00156729en\\_us](https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=emr_na-a00156729en_us)

<お問い合わせ先>

ご契約いただいているサポート窓口へご連絡をお願いします。

シリアル番号もしくは契約番号とともに、IntelBaseServer のシステム停止事象の件とお伝えください。

保守契約がない場合は、以下 HPE サポートセンターより Web 受付となります。

<https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=c04770344>

以上